

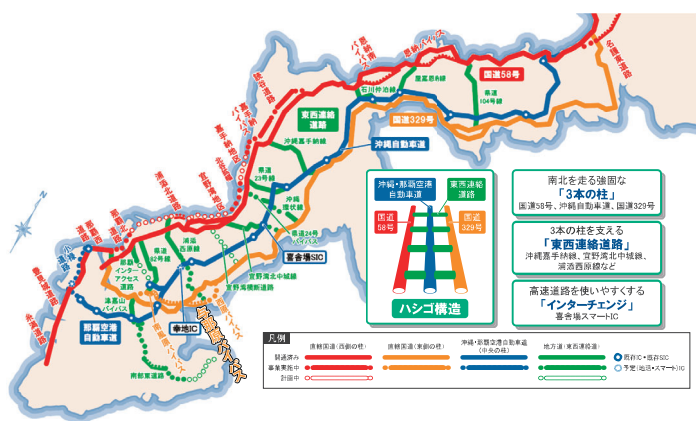
# よなばる 国道 329 号与那原バイパスの整備について

内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所 調査第一課

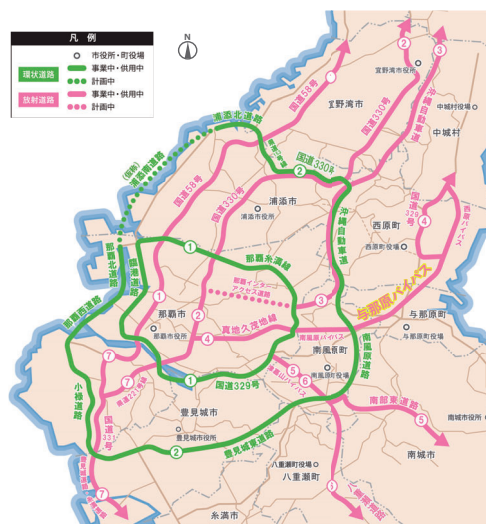
## 1. はじめに

沖縄県は戦後、米軍統治下におかれ、1972 年の復帰から国道をはじめとする道路交通網の整備を実施してきました。2003 年 8 月に唯一の軌道形交通である「沖縄都市モノレール」が完成・開業したものの、陸上交通の大半を自動車交通に依存していることから、全国でも渋滞の著しい地域となっています。

沖縄総合事務局では、沖縄本島のハシゴ道路計画（ネットワーク）構想のもと、沖縄自動車道、国道 58 号、国道 329 号を南北を走る強固な『3本の柱』として位置付けるとともに、那覇都市圏において「2 環状 7 放射道路」としても位置付け整備を進めているところです。



ハシゴ道路



2 環状 7 放射道路

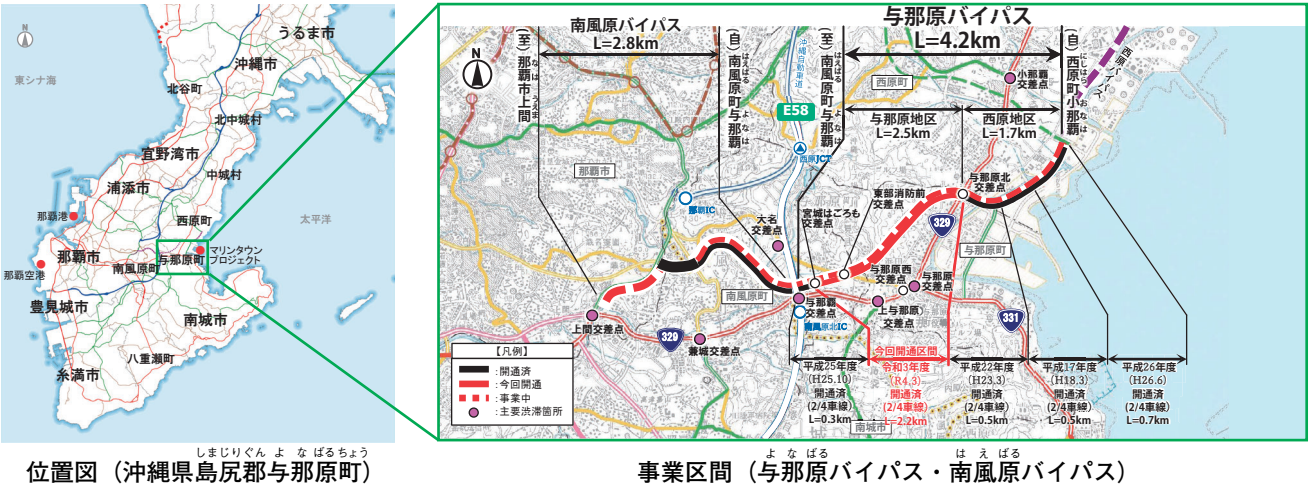
## 2. 与那原バイパスの概要

一般国道 329 号は、沖縄本島の太平洋側と東シナ海側を結ぶ大動脈であり本島の中南部地域と那覇市を結ぶ主要幹線道路です。地域内の主要な道路網である国道 329 号は、東海岸地域で南北地域を結ぶ唯一の幹線道路である一方、道路幅員の制限で、右左折交通による後続車両の直進阻害や周辺店舗等の施設への出入り交通などもあり、特に朝夕の通勤ラッシュ時の交通集中による慢性的な交通渋滞及び交通安全の確保が課題となっていました。

よなばる はえばる  
与那原・南風原バイパスは、那覇都市圏の中央環状線と一連で西海岸道路と東海岸地域を結ぶ東海岸連絡道路として位置づけられており、都市圏の中心である那覇市（那覇空港、那覇港）と与那原町・西原町（マリントウンプロジェクト等）を東西に連絡する那覇都市圏のネットワーク上重要な位置を占める道路です。

そのうち、国道 329 号「与那原バイパス」は、西原町字小那覇から南風原町字与那覇に至る延長 4.2km の主要幹線道路であり、「与那原バイパス」を整備することで、並行する国道 329 号の渋滞緩和を図るとともに、東海岸地域のアクセス向上に寄与する道路です。

令和 4 年 3 月 6 日（日）に延長 2.2km が暫定 2 車線で開通し、与那原バイパスの全 4.2km が暫定開通となったことから、本取組における開通後 1 カ月の整備効果について紹介いたします。



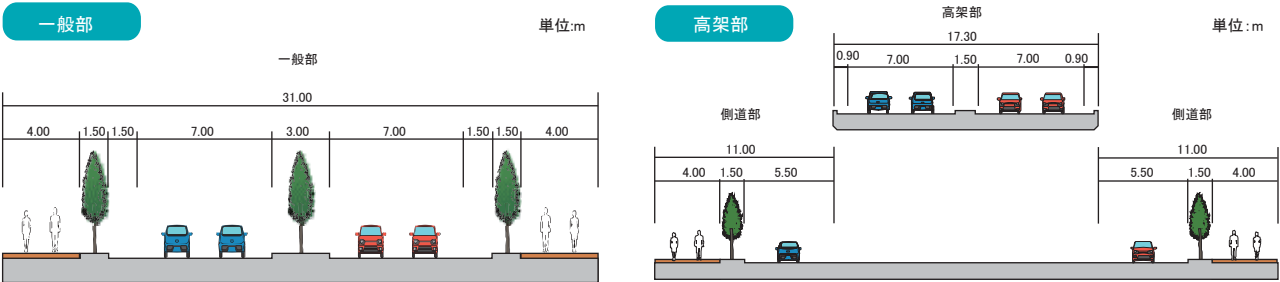
事業経緯

| 事業の手順     | 年度         |
|-----------|------------|
| 事業開始      | 平成 4 年度    |
| 都市計画決定    | 平成13年 1月   |
|           | 平成14年 5月   |
| 用地着手      | 平成14年度     |
| 工事着手      | 平成16年度     |
| 部分開通      | 平成18年 3月   |
|           | 平成23年 3月   |
|           | 平成25年10月   |
|           | 平成26年 6月   |
| 全線暫定2車線開通 | 令和 4 年 3 月 |

設計諸元

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 区間   | （自）西原町小那覇<br>（至）南風原町与那覇 |
| 延長   | 4.2km                   |
| 道路規格 | 第 4 種第 1 級              |
| 設計速度 | 6 0 km/h                |
| 車線数  | 4 車線                    |

標準断面図



3. 与那原バイパスの全線暫定開通後 1 カ月の交通状況の変化について

(1) 断面交通量の変化

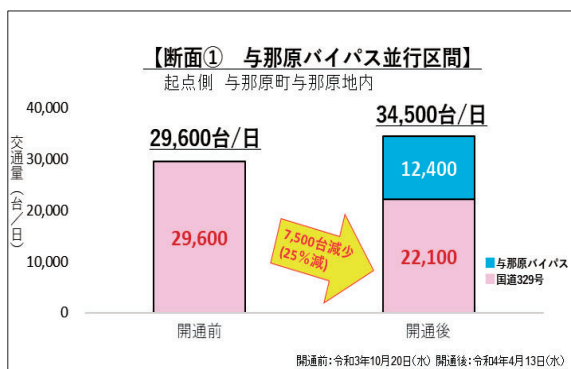
起点側の断面①については、開通後は並行する国道 329 号（現道）は、開通前の 29,600 台 / 日から約 25%にあたる 7,500 台 / 日減少し、与那原バイパスへ 12,400 台 / 日が転換。（図－ 2）

終点側の断面②については、国道 329 号（現道）では、開通前の 33,300 台 / 日に対し、開通後は約 12%にあたる 3,900 台 / 日が減少し 29,400 台 / 日となっており、与那原バイパスの既開通済み区間での全線暫定開通前の 5,000 台 / 日から約 146%の 12,300 台 / 日と 7,300 台 / 日増加する結果となり、国道 329 号（現道）の交通量が減少して、バイパス側へ交通が転換されたことが確認できました。（図－ 3）

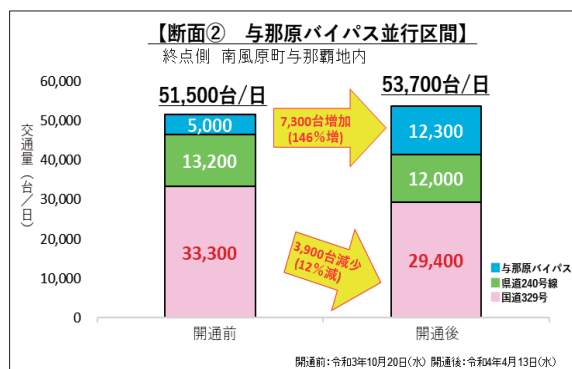
また、国道 329 号（現道）の交通量の減少に対し、与那原バイパス交通量の増加が大きいため、与那原バイパスの全線開通によって、国道 329 号（現道）以外の周辺道路の交通も与那原バイパスへ転換されたと推察されます。



図－1 国道 329 号の交通量の変化



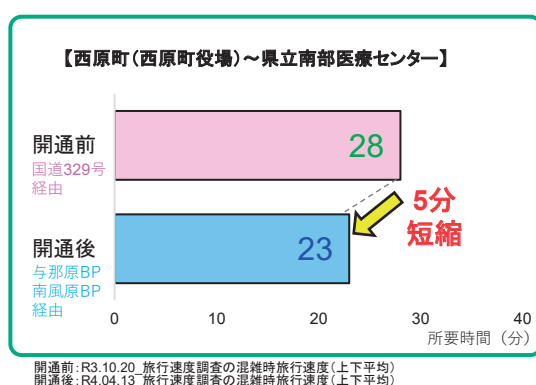
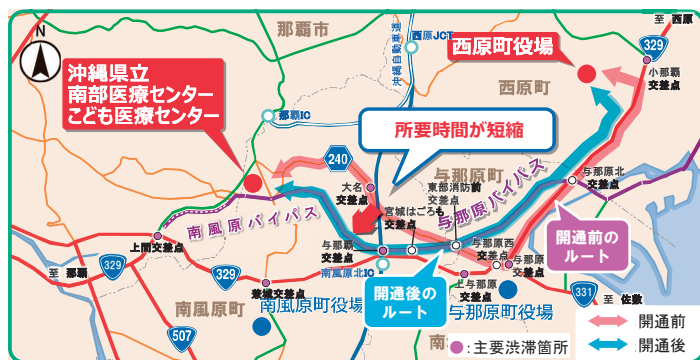
図－2 断面①の交通量の変化



図－3 断面②の交通量の変化

## (2) 時間の短縮効果

東海岸地域(西原町役場)から県立南部医療センター(第三次医療施設)へのアクセスに際し、開通前は、国道 329 号（現道）から県道 240 号経由を利用した場合の所要時間が 28 分に対し、開通後は与那原バイパス・南風原バイパス経由を利用した場合の所要時間は 23 分と、所要時間が 5 分短縮したことにより、救命率の向上による緊急医療活動の支援が期待されます。(図－4)



図－4 所要時間の短縮



### (3) 与那原交差点の交通状況の変化

主要渋滞交差点である国道 329 号（現道）与那原交差点において、開通前と開通後の朝・夕ピーク時間帯での渋滞長を計測しました。

開通前では、朝方ピーク時間帯の①西原方面から与那原交差点向け及び②那覇方面から与那原交差点向けで 400m を超える渋滞が確認されました。夕方ピーク時間帯では、①西原方面から与那原交差点向けで 450m あり、②那覇方面から与那原交差点向けは渋滞長 830m と非常に長いことが確認されました。（図－5）

これは、那覇都市圏へ通う通勤車等が、西原方面との通勤の際に発生する渋滞だと推測されます。

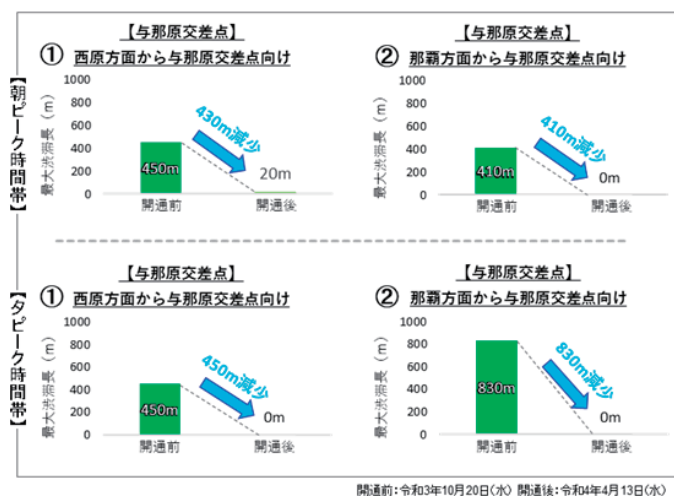
開通後は、朝方ピーク時は①西原方面から与那原交差点向けは、渋滞長は 450m から 20m となり、②那覇方面から与那原交差点向けは 410m 短縮され 0m となり渋滞は計測されませんでした。夕方ピーク時には、①西原方面から与那原交差点向けは、渋滞長は 450m 短縮され 0m となり、②那覇方面から与那原交差点向けは 830m 短縮され 0m となり、どちらも大幅な減少がみられ渋滞は計測されませんでした。（図－6）

また、交通渋滞の解消により、通行時間が①那覇方面向けで開通前の 13 分から開通後の 1 分へと 12 分短縮、②西原方面向けで開通前の 16 分から開通後の 1 分へと 15 分短縮。与那原交差点の方向別交通量の観測により、那覇方面向け及び西原方面向けの両方で約 30% の交通量の減少が確認されたことから（図－5、7）、通過交通が現道ではなく与那原バイパス側に転換されたことで、交通渋滞が大きく改善されました。

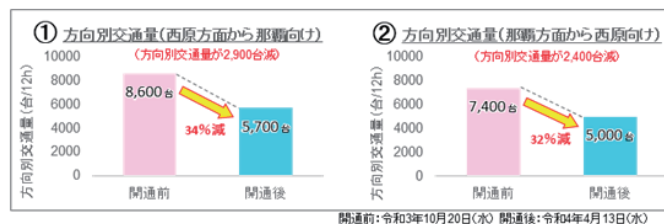


出典：国土地理院(<https://www.esi.go.jp/>) 地理院地図を加工して作成

図－5 主要渋滞箇所：国道 329 号与那原交差点の交通状況の変化



図－6 与那原交差点の最大渋滞長



図－7 与那原交差点の方向別交通量





主要渋滞箇所：国道 329 号与那原交差点の渋滞状況

#### 4. 終わりに

全線暫定開通後 1 ヶ月の交通量調査の結果、国道 329 号（現道）並行区間の交通の転換、時間短縮及び渋滞状況の改善がみられ、与那原バイパス全線暫定開通による効果が確認できました。2022 年度以降も全線 4 車線化の完成に向け整備を推進してまいります。



国道 329 号と交差する与那原北交差点  
(令和 4 年 10 月 29 日撮影)



町道与那原 6 号線と交差する町道与那原 6 号線交差点  
(令和 4 年 10 月 29 日撮影)



与那原公園の西を通る与那原 2 号橋  
(令和 4 年 10 月 29 日撮影)



県道 240 号線と交差する東部消防前交差点  
(令和 4 年 10 月 29 日撮影)